

観光社会資本の事例

テーマ	世界文化遺産「姫路城」と調和のとれた街路
【施設の状況写真】	 <p data-bbox="483 943 1171 999">姫路城への眺望を確保した駅前のシンボルロード</p>
【施設の利用写真】	 <p data-bbox="483 1536 1171 1608">大手前通りを利用したお城まつりのパレード</p>
【観光資源としての利用状況】 <p data-bbox="148 1686 1445 1917">「大手前通り」は、戦災復興土地区画整理事業により築造され、観光道路として国宝姫路城への景観を損なわないように当初から無電柱化が実施されました。その後、シンボルロード整備事業(街路事業)により、道路空間をより快適で魅力ある公園道路として再整備を行い、緑豊かで市民に親しまれる風格のある街並み景観を創出しました。現在、「姫路お城まつり」などのいろいろなイベントの場、憩いの場として市民、観光客などから親しまれています。</p>	

テーマ	世界文化遺産「姫路城」と調和のとれた街路
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 大手前通り</p> <p>所在地 兵庫県姫路市</p> <p>事業名 シンボルロード整備事業</p> <p>事業主体 姫路市</p> <p>事業期間 昭和59年 ~ 昭和62年</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>シンボルロードの再整備により、交通の流れがスムーズになり接触事故等が減少しました。また、祭りや行事などに機能を最大に発揮する自由度の高い空間を備えた道路として、多目的かつ有効的に利用されています。</p>	
<p>【位置図】</p> 	
<p>【関連ホームページ】 姫路観光協会 http://www.himeji-kanko.jp/</p>	